

ランドマーク整備の拡充を

100人で
門出祝う

松ヶ根部屋が特別講演

千葉県交通安全施設業協同組合（白鳥和重理事長）と全国道路標識・標示業協会千葉県協会（増田孝会長）は、千葉市美

浜区のホテルグリーンタワー1幕張で6日、新春交流会を開催した。当日は、来賓として川名寛章県議会議長などを招いたほか、組合員・賛助会員らも出席し、総勢約100人で新しい年の門出を祝った。



白鳥理事長



松ヶ根親方



日高みづえさん

新年会は2部構成で開催された。第一部は、松ヶ根親方（元大関・若嶋津）や元歌手でタレントの日高みづえ（旧姓：高田みづえ）さん（以下、おかみさん）、2人と同郷で嘶家の林家利平師匠に



よる講演会が開催された。演題は「松ヶ根部屋の軌跡〜おかみさん20年を語る〜」。講演会は、呼出し松男

氏の太鼓叩きや拍子柝打ち披露に続き、松ヶ根親方の現役時代矢おかみさんの芸能活動を映像で紹介。その後、おかみさんが芸能界引退後、親方と子どもたち（力士）ともに歩んできた20年について、「感謝の気持ちを持って、一生懸命取り組むことが大事」などと語った。

第二部は会場を移し、懇親会を開催。冒頭、あいさつに立った白鳥理事長は、東京オリンピックの開催が決定したことに期待感を示し、「海外からの表玄関である成田空港を抱える千葉県では、多くの来訪者へ魅力を分かり易く伝えるため、ランドマーク標識整備の推進が重要な役割を担う」と強調。

また、「これまで同様道路反射鏡や標識の清掃・点検、チャリティーによる各種募金活動、技術向上に向けた技能検定の実施などを活発に展開していく」と方針を示し、県民の安全・安心に貢献する意欲を見せた。

最後に、地域に信頼される専門工事業者として、国や県などの関係機関へ受注機会の確保や分離発注の推進などを訴えていく考え、より高度な施工技術を習得するために賛助会員とともに研鑽していくことを呼びかけ、新

年のあいさつを締めくくった。来賓あいさつでは、猪口参議院議員（代理）、組合顧問を川名寛章県議会議員、鈴木忠治氏（千葉県観光立県支援フォーラム理事長、房総さくらの会理事長）が各々の立場から、「交通事故撲滅や住環境の向上には、標識やガードレールなどの整備が重要」との祝辞を述べ、組合・業界発展への後押しを約束した。

あいさつに続き、同組合の茂木芳和相談役の（千葉県観光立県支援フォーラム理事長、房総さくらの会理事長）の「技術の研鑽に励み、地域のために全力で貢献しよう」という力強い発声で全員が乾杯し、新年のあいさつと交流を深めた。